



盛岡市プレスリリース

～ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡～

令和4年6月1日
農林部 農政課

市政記者クラブ加盟社 各位

大日本農会農事功績表彰、農山漁村女性活躍表彰及び飼料用米多収日本一表彰の受賞者が市長を表敬訪問します

令和3年度の各種表彰の受賞者が、市長を表敬訪問し、これまでの活動の成果や受賞の喜びを報告します。

記

【日 時】 令和4年6月10日（金）午後3時から午後3時15分まで

【場 所】 市長応接室（住所：盛岡市内丸12番2号 盛岡市役所本庁舎4階）

【受賞者】 ■大日本農会農事功績表彰

緑白綬有功章 北田 晴男さん・富士子さん御夫妻

りんごの農薬の使用を抑えた特別栽培による環境にやさしい農業と、「葉とらず」栽培による葉摘み作業の軽減など労働改善を実践しています。また、家族間での役割分担などを定めた協定を策定し、家族全員で話し合う場を定期的に設け、後継者への継承に役立てるなど、家族経営農家としての見本となっています。そのほか、産直販売及び全国への宅配やジャム等の加工品の製造販売による6次化などを行ってきました。さらに長年にわたり地域の栽培技術・品質向上に努め、「盛岡りんご」の産地づくりとブランド化に貢献しており、その功績が高く評価されました。

農事功績表彰とは

農事改良や農業上の有益な発見・研究を行うなど、農業・農村の振興発展に功績のある方々に対し、大日本農会総裁 秋篠宮皇嗣殿下の御名をもって表彰を行っているもの。明治27（1894）年から始まったこの表彰は、令和3年度で第105回を迎えた。

■農山漁村女性活躍表彰

全国農業協同組合中央会長賞 松本 直子さん

りんごとブルーベリーを中心とした果樹専業経営に加え、自家の果樹園に地産地消カフェ「mi cafe（ミ・カフェ）」を開業して農産物の高付加価値化、経営の多角化に取り組むとともに、地域農業の現状や農村風景を維持する取組などを発信しています。また、農地を開放し地元保育園・小中学生の体験学習、高校生や農業大学校生の研修受入れなど、長年、食農教育に携わってきました。果樹園で開催するチャリティイベント「りんご畑 de コンサート」では、地域農業の魅力を再発見する機会となっているなど、地域活性化にも積極的に貢献していることが高く評価されました。

農山漁村女性活躍表彰とは

女性が農山漁村で生き生きと活躍できる環境づくりに資することを目的とし、農林水産業及び農山漁村の活性化、農林水産業経営や政策・方針決定への女性の参画推進、次世代リーダーとなりうる若手女性の農林水産業への参入など、女性活躍推進のために優れた活動を行っている個人や団体の方々を表彰しているもの。

■飼料用米多収日本一表彰
農林水産大臣賞受賞 坂本 静江さん

令和3年産飼料用米の生産において、地域の平均単収を58%超える337kgの増収、単収も900kgを超える多収を実現しました。畜産経営（肉用牛繁殖）の傍ら、飼料用米生産に平成24年産から10年間取り組み、この間の生産活動の経験によって品種の特性を把握し、きめ細やかな肥培管理により収量アップに繋がりました。自家生産の牛糞堆肥の活用だけでなく、飼料用米実需者である鶏卵生産事業者から耕畜連携により無償提供を受けた鶏糞堆肥の活用や立毛乾燥を行うなど、コスト削減を意識した生産取組が高く評価されました。

飼料用米多収日本一表彰とは

生産技術の面から先進地で他の模範となる飼料用米生産者を表彰し、その成果を広く紹介することで、飼料用米生産農家の生産に係る技術水準の向上を図ることを目的として実施しているもの。

【担当】盛岡市農林部農政課経営支援係
西舘 匡世／佐藤 鈴
電話 019-613-8458（直通）
FAX 019-653-2831